

『第2期地域福祉実践計画』に基づいた、事業推進の3年目が終了しました。未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれない中であって、多くの事業が縮小や中止を余儀なくされました。しかしながら、感染予防対策に取り組みつつ少しずつではありますが、事業を改善し再開することができました。

事業概要

令和4年度は、事業再開に向け新しい生活様式を取り入れながら改善し、実施することを模索し続けた1年でした。特に、コロナ禍だからこそ人と人との繋がりを作り、孤立しない・させない地域づくり、困りごとを抱える住民がひとりでも減るよう生活福祉相談センターを核とする頼れる相談支援体制づくり、高齢者（55歳以上）を重点的にしながらいくつになっても就労し活躍できる生涯現役のまちづくりに取り組みました。

福祉委員を中心に各町内会ごとに見守り活動を展開する体制を整え、福祉委員会だよりを新たに作成したことで見守り対象者が必要とする情報を直接届けることができました。さつき会とも連携し、行政サービスだけではなく介護予防に関する情報を届けることで、元気なうちから介護予防に取り組む町民が増えるよう意識醸成にも取り組みました。

住民の願いである「いつまでもこのまち・地域に住み続けたい」を叶えるため、住民が抱える困りごとを解決することに日々取り組んでいます。住民が困りごとを抱え込まないよう信頼される相談体制づくりに取り組みました。令和3年度から委託を受け取り組んでいる「重層的支援コーディネーター事業」により、町民の生活そのものや生活を送る中で直面する困難や生きづらさの多様性・複雑性に応えるべく、重層的支援コーディネーターを中心に行政との情報共有・連携の仕組みを作り、社協内に配置しているコミュニティソーシャルワーカーと地域づくりコーディネーター、生活支援コーディネーター、学校運営協議会コーディネーターと連携してチームアプローチによる伴走支援を展開しました。

令和2年度から取り組んでいる高齢者の就労支援では、いくつになってもワクワクしながら働きたい、働くことで誰かのために役に立ったりお友達を増やしたり健康づくりにつなげたいという住民の願いを叶える仕組みが完成し、3年間で100名の高齢者が町内にある各企業で雇用契約を結び

活躍しました。仕事を通じて新たな居場所ができ、介護予防にも繋がり、社会の中で必要とされることなどを体感して頂きながら住民自身が輝き始めることを目の当たりにし、喜びを感じながら仕事に邁進することが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、まもなく2類相当から5類感染症に変わります。しかしながら、終息の兆しが見えない中、少子高齢化による人口減少により地域社会は大きく変貌し福祉に関する相談は増える一方です。生活困窮者、独居高齢者、ひきこもりの方だけでなく働き盛りの世代の相談も増えており、生き難さを抱えた住民の不安は尽きることがありません。

令和2年度から推進している『第2期鷹栖町地域福祉実践計画』の中間評価を令和4年度に行い、令和5年度以降改善すべき所はしっかり改善し、一つの不幸も見逃さず寄り添い続ける地域共生社会を実現するために挑戦して参ります。

決算概要

本業による資金収支を示す事業活動資金収支差額は、費用弁償を財政改革の一貫で平成30年度に減額しましたが、近年の経営状況を鑑み増額するなど積極的な投資を行いながらも2,596,452円の黒字となりました。

その他の活動資金収支差額では、退職金等の積立により1,789,308円の赤字となっております。

しかしながら、令和4年度収支決算は、経営上の資金収支を示す資金収支計算書の当期資金収支差額より807,144円の黒字（前年度583,178円 前年比138%）となり、財政改革を始めた平成28年度より7期連続黒字となりました。

令和4年度 決算報告

貸借対照表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

資産の部		負債の部	
科目	合計	科目	合計
流動資産	13,635,596	流動負債	5,531,068
- 預貯金	8,325,699	- 未払費用	800,385
- 未収金	2,948,008	- 未返還金	571,586
- 未収補助金	2,333,411	- 預り金	3,779,269
- 立替金	28,478	- 職員預り金	379,828
固定資産	18,146,464	固定負債	9,855,433
基本財産	1,000,000	- 退職給与引当金	8,980,513
- 定期預金	1,000,000	- 退職給付引当金共済会退職給付引当金	874,920
その他の固定資産	17,146,464	負債の部合計	15,386,501
- 車両運搬具	1,332,385	基本金	1,000,000
- 器具及び備品	3,315,860	基金	6,500,000
- 減価償却累計額△	5,412,791	- 福祉基金	3,000,000
- ソフトウェア	840,000	- ノーマライ基金	3,500,000
- 貸付事業貸付金	480,490	国庫補助金等特別積立金	125,712
- 退職給付引当資産	8,980,513	- 国庫補助金等特別積立金	125,712
- 退職給付引当資産共済会退職手当預け金	874,920	その他の積立金	1,805,203
- 福祉基金積立資産	3,000,000	- ボランティアセンター預託金積立金	225,297
- ノーマライ基金積立資産	3,500,000	- 山下・神田金庫積立金	1,579,906
- ボランティアセンター預託金積立資産	225,297	次期繰越活動増減差額	6,964,644
- その他の固定資産	9,790	- 次期繰越活動増減差額	6,964,644
		- （うち当期活動増減差額）	797,144
		純資産の部合計	16,395,559
資産の部合計	31,782,060	負債及び純資産の部合計	31,782,060

事業活動計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収益科目	決算額	費用科目	決算額
会費収益	1,480,000	人件費	36,441,163
寄附金収益	2,482,954	事業費	12,758,424
経常経費補助金収益	9,684,893	事務費	3,600,356
受託金収益	40,486,028	共同募金配分金事業費	2,673,290
事業収益	2,132,133	減価償却費	0
受取利息配当金収益	4,369	国庫補助金等特別積立金取崩額	0
その他のサービス活動外収益	0	国庫補助金等特別積立金積立額	0
施設整備等補助金収益	0	サービス区分間繰入金費用	3,647,496
サービス区分間繰入金収益	3,647,496	その他の積立金積立額	0
前期繰越活動増減差額	6,167,500		
その他の基金取崩額	0		
収益合計	66,085,373	費用合計	59,120,729

〔収益合計〕

〔費用合計〕

〔次期繰越活動増減差額〕

$$66,085,373 - 59,120,079 = 6,964,644$$

令和5年度事業計画

事業目標

誰もがつながり、安心、健康で

「幸せ」に暮らせる『あったかす』なまちを目指して

1

誰もが『つながり』支え合いのできるまち

すべての人が何かしらの場面で人とつながり、支え合うことにより「幸せ」が感じられるまちを目指します。

2

誰もが『安心』して暮らすことのできるまち

高齢者、障がい者、子ども・子育て世帯、生活困窮者など、支援を必要とする方も含め、すべての人が安心して生活できるまちを目指します。

3

誰もが『健康』で心豊かに暮らすことのできるまち

すべての人が「からだ」も「こころ」も健康で、自らの知識や技能、得意なコトを活かして地域で心豊かに活躍できる「幸せ」なまちを目指します。

事業内容

鷹栖町社会福祉協議会では、『つながり』と『安心』、そして『健康』づくりを推進し、
幸せに満ち溢れたまちを住民の団結により作り上げるため、『地域実践TAKASUプロジェクト』を実施します。

地域実践プロジェクト

T

- つながる -

誰もがつながり

支え合いのできるまちを作るために

1. 課題を早期発見できる体制づくり

- ①福祉委員会事業の推進
- ②見守り団体交流会の開催
- ③ひとり暮らし高齢者宅歳末たすけあい訪問の実施

2. 多様な主体がごちゃまぜになる地域共生社会の推進

- ①中間的就労支援事業（社会参加のきっかけづくり事業）の推進（受託）
- ②コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置（受託）
- ③手づくりマルシェの開催（受託）
- ④共同募金運動の推進
- ⑤地域づくりコーディネーターの配置（受託）
- ⑥高齢者向け住宅生きがい活動援助員事業の推進（受託）
- ⑦鷹栖町老人会の運営支援

3. 地域福祉を支える人材の掘り起こしと育成

- ①ちょっとだいじょうぶかな？！食堂の実施
- ②日常生活自立支援事業の推進（受託）
- ③小・中学校と連携した福祉教育の推進
- ④車椅子・高齢者擬似体験セット貸出事業の推進

4. 時代の流れに合わせた支え合いシステムの構築

- ①生活支援体制整備事業の推進（受託）
- ②生活支援コーディネーターの配置（受託）
- ③買い物支援事業の推進（受託）
- ④各地区公民館及び集落支援員と連携した地域づくりの推進

地域実践プロジェクト

K

- 健康 -

誰もが健康で心豊かに

暮らすことのできるまちを作るために

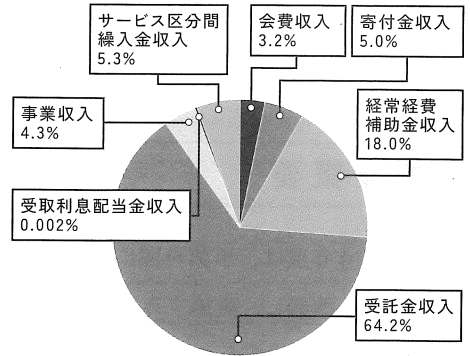
1. 多様なニーズに対応した居場所づくり

- ①空き家活用事業の推進
- ②生涯現役地域づくり環境整備事業の推進（受託）
- ③就労支援員の配置（受託）

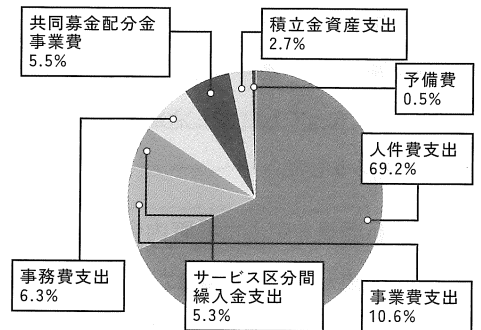
令和5年度 予算

(単位: 千円)

科 目	合計額	サービス区分		
		法人運営事業	受託事業	共同募金事業
会費収入	1,440	1,440	0	0
寄附金収入	2,300	1,000	0	1,300
経常経費補助金収入	8,236	6,921	0	1,315
受託金収入	29,301	0	29,301	0
事業収入	1,962	1,802	160	0
受取利息配当金収入	1	1	0	0
サービス区分間繰入金収入	2,416	2,416	0	0
合計	45,656	13,580	29,461	2,615



科 目	合計額	サービス区分		
		法人運営事業	受託事業	共同募金事業
人件費支出	31,595	8,703	22,892	0
事業費支出	4,839	1,427	3,378	34
事務費支出	2,867	2,525	261	81
共同募金配分金事業費	2,500	0	0	2,500
積立金資産支出	1,214	800	414	0
サービス区分間繰入金支出	2,416	0	2,416	0
予備費	225	125	100	0
合計	45,656	13,580	29,461	2,615



地域実践プロジェクト



- 安心 -

誰もが安心して
暮らすことのできるまちを作るために

1. 寄り添い続ける相談体制の構築

- ①生活福祉資金貸付事業の実施(受託)
- ②山下・神田金庫貸付事業の実施
- ③緊急用食糧等給付事業の実施
- ④就職面接時整容準備事業の実施
- ⑤ポータブルトイレ貸出事業の実施
- ⑥重層的支援コーディネーターの配置(受託)

2. 切れ目のないチームサポート体制の推進

- ①生活福祉相談センターと連携した相談支援体制の構築
- ②社協職員によるアウトリーチの推進
- ③社協だよりやSNSを活用した情報発信

3. 災害時における避難体制づくり

- ①要援護者台帳を活用した見守り及び災害時の支援体制の構築

4. 安心して子育てのできる環境づくり

- ①おうちにサンタがやってくる!の開催
- ②スキリーサイクル事業の推進
- ③寺子屋サポート隊の支援
- ④こども体験教室の開催
- ⑤鷹栖高校地域体験活動の実施
- ⑥学校運営協議会コーディネーターの配置(受託)

2. 身体と心が豊かになる健康づくりの推進

- ①ふまねっと教室の開催支援
- ②ポッチャ大会等の開催支援
- ③あったかすリビングノートの普及・啓発

3. あらゆる人が役割を持ち暮らせる環境づくり

- ①ボランティアセンターの設置及び運営委員会の開催支援
- ②ボランティアコーディネーターの配置
- ③ボランティア登録者等のニーズに沿った活動支援及び交流会等の開催支援
- ④住民の困りごとと解決に取り組むサポーターの支援